

## 09-6 放課後児童クラブ運営規程

### 安積第二小児童クラブ運営規程

#### (事業の目的)

第1条 郡山市（以下「市」という。）が開設する安積第二小児童クラブ（以下「事業所」という。）が行う児童福祉法（昭和22年法律第164号。以下「法」という。）第6条の3第2項に基づく放課後児童健全育成事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の放課後児童支援員又は補助員（以下「支援員等」という。）が、事業を利用している児童（以下「入所児童」という。）に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、入所児童の健全な育成を図ることを目的とする。

#### (運営の方針)

第2条 事業における支援は、保護者が就労等により昼間不在であることを常態とする家庭の小学校に就学している児童に対し、家庭、地域との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図るものとする。

2 市は、入所児童の人権に十分配慮するとともに、一人ひとりの人格を尊重して、その運営を行うものとする。

3 市は、地域社会との交流及び連携を図り、入所児童の保護者及び地域社会に対し、事業の運営内容を適切に説明するよう努めるものとする。

4 市は、事業の運営内容について、自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めるものとする。

5 事業所の構造設備は、採光、換気等利用者の保健衛生及び入所児童に対する危害防止に十分な考慮を払って設けるものとする。

#### (事業所の名称等)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

(1) 名 称 安積第二小児童クラブ

(2) 所在地 郡山市三穂田町川田字柿ノ木 55 番地

#### (職員の職種、員数及び職務の内容)

第4条 職員の職種は、次のとおりとする。

(1) 放課後児童支援員 郡山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（平成26年郡山市条例第35号）第10条第3項（以下「条例」という。）の資格を有する者。

(2) 補助員 放課後児童支援員が行う支援について放課後児童支援員を補助する者。

2 事業所に配置する支援員数は、次のとおりとする。

(1) 利用予定児童数が49人以下の場合は常時2人とする。

(2) 利用予定児童数が50人以上の場合は常時3人とする。

(3) 特別支援学級に通学している児童若しくは特別な支援が必要と判断される児童が入所している場合は、上記の支援員数に次のとおり人数を加配する。

ア 障がい児童数 1～2人 1名

イ 障がい児童数 3～5名 2名

## 09-6 放課後児童クラブ運営規程

ウ 障がい児童数 6～8人 3名

エ 障がい児童数 9名以上 4名

(4)施設の状況等により必要と認められる場合には、上記の支援員数に必要な人数を加配する。

(5)配置する支援員等のうち、最低1人以上は条例の資格を有する者に規定する放課後児童支援員としての資格を有する者を配置する。

### 3 支援員等は、次に掲げる職務を行うものとする。

- (1)入所児童の出席確認、状況の把握
- (2)入所児童の健康管理、安全の確保及び情緒の安定を図るための援助
- (3)遊びを通しての自主性、社会性及び創造性を培う援助
- (4)宿題及び自習等の学習活動を自主的に行える環境整備及び必要な援助
- (5)基本的生活習慣を身に付け、自立することに向けた援助
- (6)家庭との日常的な連絡、情報交換及び家庭生活の支援
- (7)地域の関係機関・団体との連絡、調整
- (8)児童クラブ以外の子どもや地域住民との交流
- (9)入所児童の状況に関する学校との情報交換、連絡、調整
- (10)会議・打ち合わせ等による支援内容の検討、情報共有
- (11)入所児童の様子及び育成支援の記録
- (12)行事や活動の企画と記録
- (13)清掃、衛生管理、安全点検、片付け等

(開所日及び閉所日)

第5条 事業所の開所日は、毎週月曜日から土曜日までとする。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる日については、事業所は、開所しないものとする。ただし、市は、特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に閉所日を設けることができる。

- (1)日曜日
- (2)国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3)12月29日から翌年1月3日までの日
- (4)8月13日から8月16日までの日
- (5)その他市長が必要と認めたとき

(開所時間)

第6条 事業所の開所時間は、次のとおりとする。ただし、市は、特に必要があると認めるときは、開所時間を変更することができる。

- (1)月曜日から金曜日まで（小学校の休校日を除く。） 児童下校後から午後6時30分まで
- (2)小学校の休校日 午前7時30分から午後6時30分まで

(支援の内容)

第7条 支援の内容は、次のとおりとする。

- (1)入所児童の健康管理、情緒の安定の確保
- (2)入所児童の安全確認、活動中及び来所・帰宅時の安全確保

## 09-6 放課後児童クラブ運営規程

- (3) 入所児童の活動状況の把握
- (4) 遊びの活動への意欲と態度の形成
- (5) 遊びを通しての自主性、社会性、創造性を培うこと
- (6) 家庭との日常的な連絡、情報交換の実施
- (7) 家庭や地域での遊びの環境づくりへの支援
- (8) その他、放課後における入所児童の健全育成上必要な活動

(支援の提供につき入所児童の保護者が支払うべき額)

第8条 支援を提供した場合の保護者が支払うべき額は、次のとおりとする。

- (1) 使用料 郡山市放課後児童クラブ条例のとおり
- (2) 保護者会費 保護者会が定めた額
- (3) 傷害保険料 年額 800 円

(利用定員)

第9条 事業所の定員は、次のとおりとする。ただし、可能な範囲内において定員を超えて利用させることができる。

- (1) 第1教室 40名
- (2) 第2教室 40名

(通常の事業の実施地域)

第10条 通常の事業の実施地域は、郡山市立安積第二小学校の通学区域とする。

(事業の利用に当たっての留意事項)

第11条 事業の利用に当たっては、入所児童及びその保護者は以下の点に留意するものとする。

- (1) 利用中に健康状態や心身の状況を把握し、病気や怪我などの場合は、速やかに保護者に連絡をし、状況によっては、利用を中止する場合があること。
- (2) 小学校の授業休業日に欠席をする場合には、事業所に連絡すること。
- (3) 支援提供上、他の入所児童に迷惑となる行為等が見られた場合、利用を中止させていただく場合があること。

(緊急時等における対応方法)

第12条 支援員等は、事業の実施中に、入所児童の病状に急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに入所児童の保護者又は主治医に連絡する等の措置を行うものとする。

(非常災害対策)

第13条 非常災害に備えるため、火災、風水害、地震等に対処するための計画を作成し、火気・消防等についての責任者を定め、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行うものとする。

(虐待の防止のための措置)

第14条 事業所は、入所児童への虐待の早期発見に努め、虐待により福祉的介入が必要とされる場合については、市が設置する要保護児童対策地域協議会等を活用しながら、こども家庭相談センター、

## 09-6 放課後児童クラブ運営規程

児童相談所等の関係機関と連携して対応するものとする。

- 2 事業所は、支援提供中に、支援員等又は入所児童の保護者等による虐待を受けたと思われる入所児童を発見した場合は、速やかに、これを市に通報するものとする。

(個人情報の保護)

第 15 条 支援員等は、業務上知り得た入所児童及びその家族の秘密を漏らしてはならない。

- 2 支援員等であった者が、業務上知り得た入所児童及びその家族の秘密を漏らすことがないようにするため、支援員等でなくなった後においてもこれらの秘密を保持するものとする。

(その他運営に関する重要事項)

第 16 条 事業所には、次の帳簿を備えるものとする。

- (1) 支援日誌
- (2) 入所児童名簿
- (3) 出席簿
- (4) 備品台帳
- (5) 支援員等出勤簿
- (6) その他必要な書類

- 2 事業所は、帳簿及び書類を当該事業の完了後 5 年間保存するものとする。

附 則

(施行期日)

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

(施行期日)

この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。